

令和元年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市ウェルネスパーク	
指定管理者	団体名	山内土木株式会社
	代表者	代表取締役 山内 将邦
	所在地	青森県むつ市大湊新町37番12号
指定期間	平成26年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日 (7年間)	
指定管理業務の概要	①ウェルネスパークの施設、設備及び備品などの維持管理に関すること ②ウェルネスパークの広報及び利用促進に関すること ③体育・スポーツ並びに健康及び体力の増進のための施設の提供に関すること ④体育・スポーツ及びレクリエーションの研修指導に関すること	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	137,250	136,922	△328
うち利用料金額	22,619	22,291	△328
うち指定管理料	114,631	114,631	0
支出合計 (B)	137,250	134,939	△2,311
うち人件費	64,411	66,031	1,620
収支差 (A-B)	0	1,983	1,983
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	収入：新型コロナウイルスの影響により、3月の克雪ドームの利用が減少 支出：暖冬・少雪による除雪費、燃料費の減少。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	センターハウス	28,234	29,594	1,360
	克雪ドーム	79,449	80,811	1,362
	ウェルネス会員	61,687	56,814	△4,873
	見学者	1,000	319	△681
	合計	170,370	167,538	△2,832

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無)

お客様ご意見ボックスを施設内に設置し、利用者アンケートを実施。受けたアンケートについては、スタッフミーティングを経て改善できるよう努めました。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
むつ市ウェルネスパーク自主事業	56,814	38,306	34,818

※自主事業に係る施設使用料相当額 1,635,000円を市に納付

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価標準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	A
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	B
④ 利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	A
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ④自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

- ・(1)①開館時間、休館日を遵守しました。また、ドーム利用者について、開館時間前に大会等の準備のための開場を行い、利便性の向上に努めました。
- ・(4)①30分刻みでシフトの調整を行い、適正な人員配置になるよう努めました。
- ・(4)②修繕については、即日対応を心掛け実施しました。
- ・(4)③法令違反となるものは、一切ありませんでした。
- ・(5)③年2回の消防訓練とその他に月1度の定例ミーティングにおいて、各種災害時対応の研修を行いました。また、警察の巡回依頼も行い、防犯・防災対策に努めました。

7. 市の所管課総合評価 ④市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

- ・集客については、様々な媒体を活用し、利用者の増加を図っていることについて評価できる。
- ・本年12月で竣工から15年目に突入するため、経年劣化等の理由により緊急的な修繕が必要となる事案が増加しているが、指定管理者がノウハウを活かし展開する自主事業で得た収入を施設の修繕等に還元していることは評価したい。
- ・市としても、利用者の安全・安心は第一に考えており、施設の計画的な修繕等を実施するため、指定管理者との連携を密に、対話を重視しながら進めていきたい。
- ・指定管理者発信で、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、世論の動向にいち早く反応し、営業時間の短縮や自主事業の休止等の措置を早急に対応したことについても評価したい。
- ・今後についても、利用者の利便性が向上するよう、適正な維持管理・運営に努めていただきたい。